木がつなぐ 山―建築―まち フォーラム

～ 新たな木質素材がひらく未来と、福井の持続可能な地域づくり ～

「山」の恵みを「まち」の「建築」へ。
持続可能な地産地消のカタチを考える。

国土の多くを森林が占める日本において、地域の木材を都市の建築に活かし、持続可能な社会をつくることは急務となっています。本フォーラムでは、ヨーロッパの先進的な木造建築に精通する法政大学の網野教授を講師に迎え、山と社会をつなぐ仕組みを学びます。さらに、接着剤を使わない環境に優しい新木質材料として注目される「DLT（木ダボ接合積層材）」の可能性を共有。後半のトークセッションでは、製材・設計のキーマンも加わり、これからの具体的な一歩を討論します。福井の未来を担う林業・木材・建築関係者の皆様、ぜひご参加ください。



法政大学デザイン工学部
建築学科教授

網野禎昭 氏

12月10日 2026年（木） **14:00–16:50** 受付 13:30～

会場

福井県国際交流会館 B1F 多目的ホール

〒910-0004 福井市宝永３丁目1-1 ／ TEL 0776-28-8800

駐車場は数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

参加費無料

定員 100 名

お申し込みはこちら

［主催］一般社団法人福井県建築士会 事業委員会 青年部会　［後援］福井県、一般社団法人日本ウッドデザイン協会

タイムスケジュール

13:30　受付

14:00　**開会挨拶、オリエンテーション**

第 1 部

14:10 – 15:10　**『ヨーロッパの木造建築から学ぶ、山と社会のつなぎ方』**

法政大学デザイン工学部建築学科教授　網野禎昭 氏

休憩 20 分

第 2 部

15:30 – 16:00　**『山とつながる新木質材料 木ダボ接合積層材DLTについて』**

一般社団法人 DLT ジャパン　鈴木康史 氏



16:10 – 16:50　**トークセッション**

『未来につなぐ山×建築×まちの関わり』～欧州の思想とDLTから考える、これからの地域循環～

法政大学デザイン工学部建築学科教授　網野禎昭 氏

水口木材株式会社 代表取締役社長　水口悟佑 氏

一般社団法人福井県建築士会

［ファシリテーター］一般社団法人 DLT ジャパン　鈴木康史 氏

登壇者プロフィール

法政大学デザイン工学部
建築学科教授

網野禎昭 氏



1996年に渡欧、スイス連邦工科大学ローザンヌ校・木造研究所イボワにて研究助手。この間、林業から建築まで木材活用を一貫して考える視点を学ぶ。ウィーン工科大学建築学部教員を経て、2010年から法政大学デザイン工学部教授。日本や欧州の中山間地域を訪ね歩き、山を豊かにする建築のあり方を模索。

お申し込み方法

下記URLまたはQRコードよりアクセスし、
必要事項をご入力ください。

https://forms.gle/3uQH9V5hAZojsQB57

その他

- 本フォーラムは、建築士会 CPD 単位を申請いたします。
  ※申し込み時に必ず CPD 番号の記入をお願いいたします。
  （2単位予定）
- 当日はトークセッションの際、Googleフォームでご意見、ご質問を募集いたします。
- 当日は、DLTのサンプル展示を行います。

お問い合わせ

◆ **一般社団法人福井県建築士会 事務局**　TEL：0776-24-8781 ／ E-mail：info@fukuiken-kenchikushikai.or.jp

◆ **株式会社長谷萬 開発本部**（担当：鈴木、黒田）　TEL：03-5809-8577 ／ E-mail：yasufumi.suzuki@haseman.co.jp